



かけ橋

秋田県立能代養護学校

No. 54 H27. 11. 24.

パワーアップセミナー紹介

第2回パワーアップセミナーは、秋田市立日新小学校教諭・渡部琢美先生から、特別支援学級の担任の実践について講演をしていただきました。特に、**交流及び共同学習**の実践例は映像を交えてお話していただき、とても勉強になりました。今回は、その一部を紹介します。

講演内容

- 1 初めて特別支援学級の担任になって。
- 2 平成26年度の実践について 「ようこそ！なかよしコンサートへ」
- 3 DVD「ようこそ！なかよしコンサートへ ～四ツ小屋、御所野合同オータムコンサートへ」
- 4 まとめ

1 初めて特別支援学級の担任になって

・養護学校8年間→特別支援学級17年 → 念願の特別支援学級の担任になったが・・・

特別支援学級って周りの先生(子どもたち)にどう思われている？！

思い描いていたものと全く違った！

- ・特別支援学級って**普段何やっているの？→よくわからない。**
- ・勉強してしているの？ → どんな勉強？
- ・教科書を終わらせなくていいから、担任は**気楽でいいね。**

校内の先生たちに理解してもらうために

- ・職員を招待する
 - ・保護者を招待する
 - ・校外に発信する
- コンサートを通して、子どもたちに理解してもらう！

2 平成26年度の実践について 「ようこそ！なかよしコンサートへ」

指導にあたって

- (1) 児童の学び合い、関わり合い(特別支援学級と通常学級)の必要性
- (2) 特別支援学級児童一人一人が主体的に取り組むための工夫

特別支援学級の担任は、交流及び共同学習のキーパーソン！

○指導案の書き方

- ・特別支援学級と通常学級それぞれの指導のねらいが必要(コンサートは50分授業でやった。)
- ・通常学級の児童が活動ごとのリーダーとして設定

3 DVD「ようこそ！なかよしコンサートへ ～四ツ小屋小、御所野小合同オータムコンサートへ」

ODVDを見ながら解説をしていただきました。

4 まとめ



【 交流及び共同学習とは。 】

- 活動目的の共有 → 体感を味わう活動
- 通常学級の子どもたちが特別支援学級の子どもたちのがんばりを理解する機会
- 特別支援学級の子どもたちが、他の学級の友達（お客様）に喜んでほしいという気持ちを生む活動
- 教育課程の位置付けを明確にする。

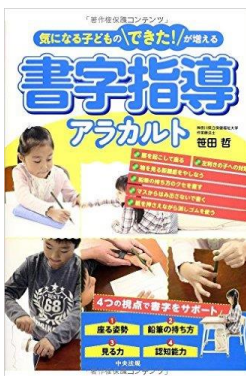
【 秋田大学 教授 藤井先生からの助言 】

- 学校の実情に応じた内容（単元）、方法で進め、まず、継続する（できること）。
- 互いの交流感をうまく作る（交流学級担任を巻き込む）。
- 双方の教育活動の中に位置付ける。互いに喜びがあるかを確認する。
- 人事異動に左右されないシステムを作る。

※交流及び共同学習について参考になることがたくさんあったパワーアップセミナーでした。



図書紹介



『気になる子どものできた！が増える 書字指導 アラカルト』

笹田 哲（神奈川県立保健福祉大学作業療法士）著書（中央法規）

4つの視点で書字をサポート。①座る姿勢 ②鉛筆の持ち方 ③見る力 ④認知能力に分けて、苦手チェックリストでチェック。指導アラカルトは、写真で指導方法がついているので分かりやすくすぐに活用できます。さらにシリーズがあり、指導内容に合わせて活用できます。

学習はまず基本が大切です。その指導に活用できる一冊としてお勧めです。

お問い合わせ
ご連絡は…

教頭 鈴木 幸子
特別支援教育コーディネーター 高橋 聡 泉 裕子 地域支援部（かけ橋担当）高橋 涉

TEL 0185-55-0691 FAX 0185-55-0681
HP <http://www.noshiro-s.akita-pref.ed.jp>
E-mail noshiro-s@akita-

本校HPの地域支援部
コーナーで各種様式を
UPしてありますので
ご利用ください。